

グラスバリアシートAS



概要

グラスバリアシートASは、屋上防水や土木防水工事に使用される改質アスファルトの技術を用いた、高性能タイプの新防草シートです。

耐久性と強度に優れる構造で、光と雨水を完全に遮ることで雑草の繁殖を抑制し、長期にわたり防草効果を維持します。シート相互のジョイント部は「遅延粘着技術」により重ねるだけで強力に接合するため、火気や溶剤を使わず安全に施工作業ができます。

特長

- 高強度の不織布を基材に、遮光性・遮水性に優れる改質アスファルトを含浸塗覆したシートです。貫通力の強い雑草の突抜けを防ぐ強靭さを持ち、柔軟で適度な重みがあるので、下地へのなじみも良好です。
- シート表面は、屋上用シート防水材に用いる耐候性の高い砂付仕上げ。紫外線に強く、長期の耐用年数を誇ります。一度の敷設で防草効果が長持ちするため、草刈りの手間やメンテナンス費用の節減に貢献します。
- シート相互の接合は新しい技術を用いた遅延粘着式で、施工直後は容易に貼り直しができます。横貼り・縦貼りが可能で、末端部はコンクリート構造物等への貼り掛けなど、状況に合わせて施工できます。

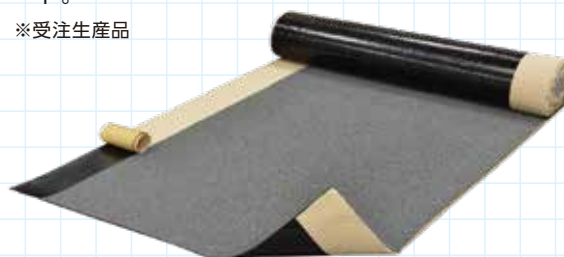


グラスバリアシートAS

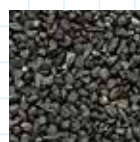
遅延粘着技術を用いた改質アスファルト系防草シート。

※受注生産品

規格 1×8m
3.0mm厚
30kg/巻



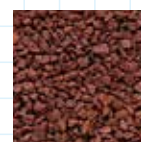
表面は碎石砂仕上げ バリエーションは3色



天然砂TS



新緑



赤茶

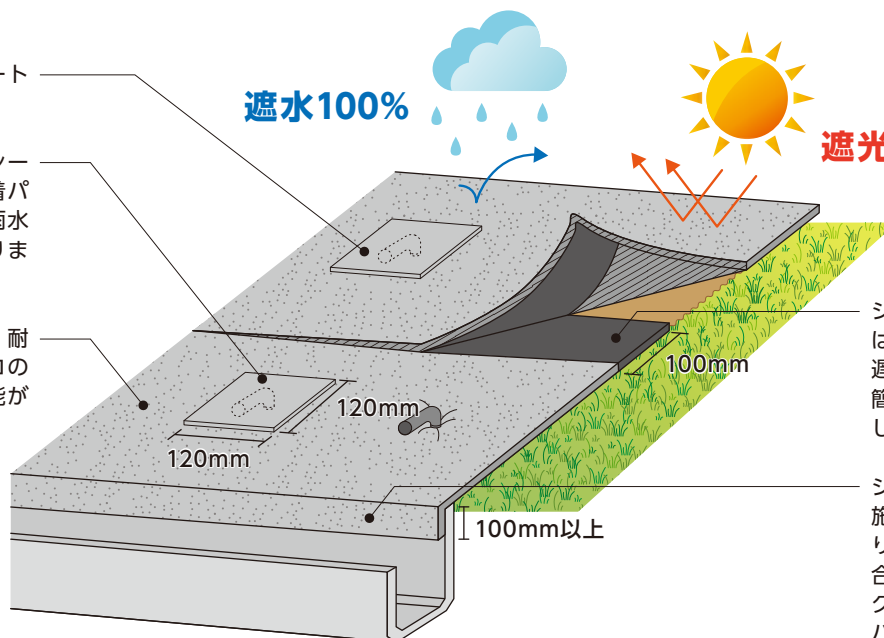
※各見本の色は印刷上現物と幾分の色差がありますので、ご決定の際は現物見本等をご確認ください。

改質アスファルト系だから強い！ 雑草の繁殖を抑える高耐久防草シート

アンカーピンでシートを固定。

アンカー固定部はシートと同素材の強粘着パッチを施工。草や雨水が入る隙間をつくりません。

表面は砂付仕上げ。耐候性に優れ、タバコの火にも強い防炎性能があります。



シートのジョイント部は改質アスファルトの遅延粘着技術により、簡単施工で強力に接合します。

シート端部は貼り掛け施工ができます。立上り部やU字溝等への接合が可能です。(コンクリート部等の接合はバーナー加熱を併用)

グラスバリアシートAS 〈道路法面・一般用途〉

施工事例

●道路周辺部の防草



●一般部の防草



●その他 防草施工部例

道路（法面・路肩部・中央帯等）、河川堤防等

支柱などの構造物にも貼り上げて端末処理ができます。

施工方法

※施工方法の詳細については別資料の手順書をご確認ください。

1 シートを敷設



施工する箇所に必要な長さのシートを配置して仮敷きます。縦貼り・横貼りどちらでも施工できます。

2 ジョイント部の接合



シート相互のジョイント部の剥離紙を取り、粘着部を重ねます。遅延粘着層は施工直後であれば、貼り直して位置調整ができます。

3 ジョイント部の転圧



ローラー等で接合部を隙間なく圧着。施工後は時間経過とともに接合強度が高くなります。

4 シート固定・端末処理

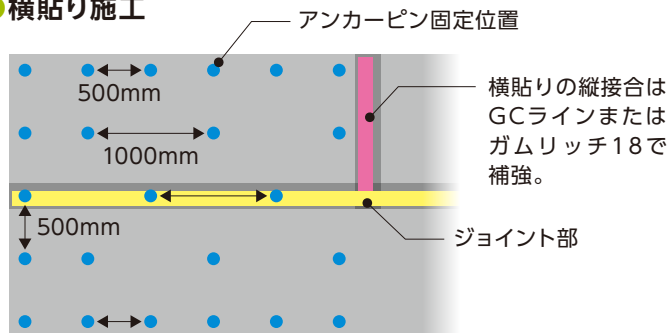


アンカーピンで地面に固定し、ピン部にパッチ貼りをします。端末部は金物を使わずにコンクリート部等への接合もできます。

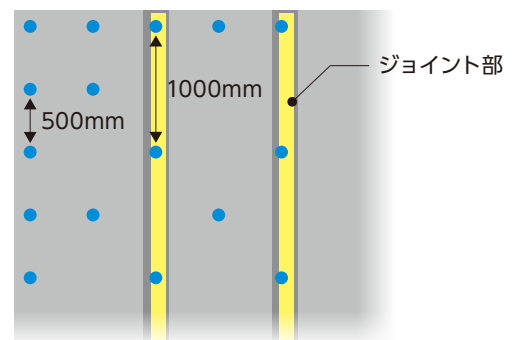
ジョイント部は、遅延粘着技術によるシート相互の貼りあわせで強固に接合できるので、パーナー等の加熱は不要です。（コンクリート部等へ接合の場合は加熱溶着が可能です）

施工割付

●横貼り施工



●縦貼り施工

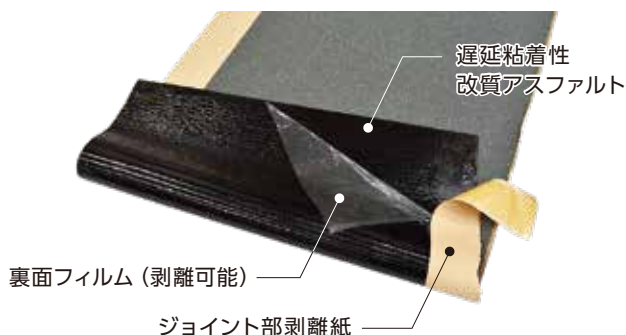
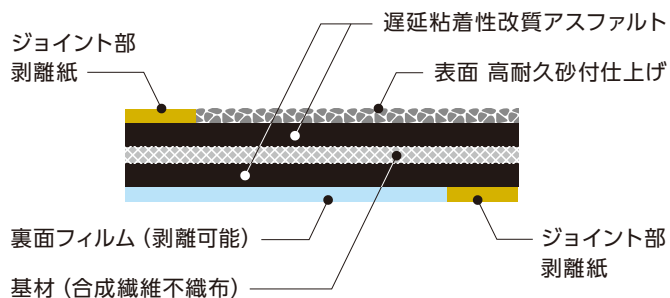


施工時の注意事項

- ・ 施工前には必要に応じて草刈り整地を行ってください。
 - ・ 接着性を阻害しないよう、施工面が乾燥していることを確認して施工してください。
 - ・ 敷設地の形状、下地こう配や雨水のながれを考慮して、シートの重ね方向を決定してください。
 - ・ 貼り重ね部は（エンドラップ／サイドラップ）は100mm以上設けてください。
 - ・ シート敷設後、等間隔にマーキングを行い、アンカーピンを打設して固定をおこなってください。
 - ・ 固定アンカーピンは、L型φ9mm×200mm以上を推奨します。
 - ・ ピン固定部には、グラスバリアパッチ120の施工を標準とします。
- ※上記仕様は標準仕様です。現場状況に合わせて変更してください。



製品構成



通常は裏面フィルムを剥離せずに敷設します。コンクリート構造物への貼り掛けなど必要に応じて剥がして使用できます。

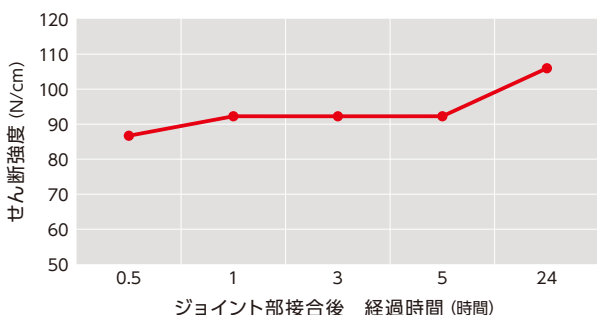
技術資料

●ガラスバリアシートASの品質

- ガラスバリアシートASは、JIS A 6013規格に適合する品質で設計されています。数十年単位での耐用年数が求められる屋上防水用改質アスファルト系シートと、同等の強度を有しています。
- 施工時には貼り直し可能で作業がしやすく、敷設後は時間の経過とともに強固な接合となる遅延粘着技術を用いています。
- 複数の機能層を重ねた品質設計により、優れた遮光性、耐防災性を有しています。

■遅延粘着性試験

試験方法：JIS A 6013 せん断強さ 20℃ (N/cm)



転圧直後の遅延粘着層

施工翌日の接合部

試験結果 遅延粘着技術は施工時の貼り直しが可能ですが、転圧直後であってもJIS A 6013の接合強さ (50N/cm) の規格値をクリアしています。その後時間の経過とともに強度が増し、強固な接合になります。

■ガラスバリアシートASの物性

試験方法：JIS A 6013 改質アスファルトルーフィングシート

物性		規格	結果
引張り	引張強さ (N/cm)	長手	合格
		幅	80以上
	伸び率 (%)	長手	合格
		幅	15以上
	抗張積 (N/cm ²)	長手	合格
		幅	2500以上
引裂き強度 (N)	長手	合格	
	幅	20以上	
せん断強度 (N/cm)	—	50以上	合格
貫通抵抗 (N) 自社試験	—	100以上	合格

試験結果 ガラスバリアシートASは、防水工事などに用いるJIS A 6013 (日本工業規格) による、改質アスファルトルーフィングシート品質試験に適合しています。

■遮光性試験

試験方法：JIS L 1055 カーテンの遮光性試験方法 A法 (照度条件 100,000Lx)

遮光性：100%

試験結果 ガラスバリアシートASは、防草性に必要な遮光性を有していることを確認しました。

■耐防災性能試験

試験方法：クレビスたばこ法 (日本防災協会 防災性能試験に準拠)

防災性：★★

試験結果 ガラスバリアシートASは、内部発火、くすぶりの進行も見られませんでした。また、透湿系シートと比較しても高い防災性能を有していることを確認しました。



材料紹介

品名	品種・用途	規格
グラスバリアシートAS*	改質アスファルト系防草シート	1m×8m巻 3.0mm厚 30kg/巻 色: 3色 (天然砂TS/新緑/赤茶)
グラスバリアテープ100*	ジョイント部増貼り用 片面粘着層付テープ	100mm×8m巻 色: 3色 (天然砂TS/新緑/赤茶)
グラスバリアパッチ120*	ピン部保護用 片面粘着層付パッチ	120mm×120mm 100枚/箱 色: 3色 (天然砂TS/新緑/赤茶)
アンカーピンユニクロ 9×200*	シート固定用 鉄製L型アンカーピン (高耐久ユニクロームメッキ)	φ9mm×200mm 200本/箱
アンカーピンユニクロ 9×250*	シート固定用 鉄製L型アンカーピン (高耐久ユニクロームメッキ)	φ9mm×250mm 150本/箱
アンカーピン 9×200*	シート固定用 鉄製L型アンカーピン	φ9mm×200mm 100本/箱
アンカーピン 9×250*	シート固定用 鉄製L型アンカーピン	φ9mm×250mm 200本/箱
U型アンカーピン 4×250*	シート仮固定用 鉄製U型アンカーピン	φ4mm×250mm 40mm幅 100本/箱
アスファルトプライマーDC*	溶剤系アスファルトプライマー (危険物第4類第1石油類危険物等級Ⅱ)	16.4kg/缶 (塗布後: 黒色)
水性プライマーAS	水性アスファルト系プライマー	17kg/缶 (塗布後: 濃茶色)
GCライン	ジョイント部用 変成シリコン系シール材	330ccカート、 850ccジャンボカート 各10本/箱
ガムリッチ18	増貼り用 ゴムアス系両面粘着テープ	180mm×8m巻

*受注生産品

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

